

学校区分	学年	RESASデータを活用した地域分析			広島県立広島叡智学園中学校
中学校	1年生				
教科名	科目名	単元名	授業時間目安	活用したRESASデータ（マップ名等を記入）	
未来創造科 (総合的な学習の時間)	Environment	大崎上島町の環境	3 時間	マーケティングマップ、観光マップ、人口マップ、産業構造マップ、 農林業漁業マップ、医療・介護マップ	

目的やねらい、背景や経緯

本授業では、自地域を取り巻く環境（人的・自然的・社会的・経済的）について調査、分析する活動が必要である。RESASは情報の信頼性が高く、産業分析、人口動態の把握、観光分析、地域比較等、複数の視点から地域を捉えることができる。本活動ではRESASの活用によって、事業所の自治体の周辺環境を多面的・多角的に分析し理解することを目的としている。

取組内容	概要	授業の構成・カリキュラム等	活動の様子
		<p>本校の未来創造科（総合的な学習の時間）の学習では、中学校2年生で「全ての人々がWell-being（幸せ）を感じることができるEnvironment（環境）とはどのようなものだろうか」という探究テーマのもと、地域で幸せを創出している事業所（企業や団体）でインターンシップを実施する。その事前学習として、事業所を取り巻く環境を調査、分析して、仮説を立てる。「事業所を取り巻く環境はどのようなものなのか。」「事業所は地域に〇〇のような良いインパクトを与えているのではないだろうか」といった問いを各々が持ってインターンシップを実施する。インターンシップ実施後にはRESASのデータと体験内容を比較する。</p>	<p>授業の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生徒は「産業」「人口」等の各分野に分かれて大崎上島町のRESASデータを読み取り分析する。 ②分野ごとの分析結果を全体で交流し、RESASの全データから大崎上島町を大観する。 ③大崎上島町の特徴を踏まえて、インターンシップ先の事業所が創出しているWell-beingの仮説を立てる。 <p>生徒への問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島町の人口はどのような特徴を持っていると言えるだろうか。 ・大崎上島町と周辺の自治体では、医療体制にどのような違いがあるのか。 ・大崎上島町の産業を長所と短所にまとめるとどのように分類できるだろうか。 ・RESASのデータから、事業所は地域に対してどのようなWell-beingを創出していると考えられるだろうか。

成果（発見・気づき）及び課題

生徒が地域について語る時には、自分の経験則や、持っているイメージを用いた。しかしその語りの中には情報の信頼性が低いものや、論拠が薄いものもある。RESASデータを活用することで、データをもとに語るできるようになり、なおかつ自分が知らなかった地域の姿を知ることができた。データと経験の往還を行うことで、「地域の環境」という概念を深めることができた。